

令和 2 年 度

# 八代市議会総務委員会記録

---

## 審 査 ・ 調 査 案 件

1. 現地視察について .....	1
1. 前回の調査内容の結果報告 .....	2
1. 次回の会議日程及び調査内容 .....	5
1. その他 .....	5

---

令和 2 年 1 0 月 2 0 日 (火曜日)

## 総務委員会会議録

令和2年10月20日 火曜日

午前10時00分開議

午後 5時16分開議（実時間18分）

### ○本日の会議に付した案件

#### 1. 現地視察について

- (1) 公共交通機関等の現状調査
- (2) 坂本支所ほか関連施設の現状調査
- (3) 坂本町の復興へ向けた研修会

#### 1. 前回の調査内容の結果報告

#### 1. 次回の会議日程及び調査内容

#### 1. その他

### ○本日の会議に出席した者

委員長 橋本幸一君  
副委員長 金子昌平君  
委員 太田広則君  
委員 中村和美君  
委員 成松由紀夫君  
委員 橋本徳一郎君  
委員 堀徹男君

※欠席委員 君

### ○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

### ○説明員等委員（議）員外出席者

議会議務局議事調査係参事 中川紀子君

### ○記録担当書記 中川紀子君

（午前10時00分 開会）

○委員長（橋本幸一君） 皆さん、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）定刻となり、定足数に達しましたので、

ただいまから八代市議会災害対策会議における総務委員会を開会いたします。

### ◎現地視察について

○委員長（橋本幸一君） 本日は、お手元に配付のレジュメ記載のとおり、まず、1、現地視察についてということで、（1）公共交通機関等の現状調査及び（2）坂本支所ほか関連施設の現状調査のための現地視察の行程等について説明をした後、休憩を取り、現地へ行き調査をいたしたいと思います。

また、レジュメに記載しております（3）坂本町の復興へ向けた研修会についてでございますが、本件につきましては、前回の委員会終了後、執行部から御案内がありました。そこで、部会活動に生かすことを目的に、当委員会も参加することといたしましたので、本日の行程に追加させていただいておりますことを御了承いただきたいと思います。

また、現地視察終了後、本委員会室において会議を再開し、委員の皆様の御意見等をお聴かせいただき、次の調査につなげてまいりたいと考えております。

なお、本日配付しております調査票につきましては、現地調査を効果的に進めていただくため各自で御活用していただき、後日、御提出をお願いいたします。

また、本部会での活動に当たり、執行部に対してはBCP継続中のため、原則、執行部の会議の出席については行わないこととされておりましたが、詳細な現状について内容を聴取するため、執行部と調整いたしましたところで本日は出席が可能ということでございますので、執行部には現地視察への同行について御対応いただくこととしておりますので御了承ください。

次に、本日の行程につきましては、お手元に配付しておりますレジュメのとおりでございま

すが、事務局から説明をいたさせます。

**○議会事務局議事調査係参事（中川紀子君）**

それでは、お手元に配付しております総務委員会現地視察の行程表を御覧ください。

この後、鏡支所を出発しまして現地視察に参ります。仮設の坂本支所に到着いたしましたら支所での意見交換となりますが、所要時間は15分程度となります。その後、被災いたしました支所へ参り、ここで仮設の支所から福島所長のほうが同行されます。到着後、被災いたしました支所の周辺視察と公共交通機関等の現状調査をいたします。所要時間は30分程度となっております。ここで午前中の視察は終了し、さかもと温泉センタークレオン亭で昼食となりますが、昼食が終了いたしましたら鎌瀬方面へ視察へ参りますが、車の中からではありますが、公共交通機関等の現状調査及び橋の落橋状況等の視察となります。その後、坂本町の復興へ向けた研修会に出席するため坂本中学校へ参ります。研修会が終了いたしましたら鏡支所へ参りまして委員会を再開し、現地視察後の意見聴取と第2回部会の調査内容の結果報告をし、次回の会議日程及び調査内容を御協議いたしまして総務委員会終了となります。

以上で、行程の説明を終了いたします。

**○委員長（橋本幸一君）** ただいまの行程について、何か御質問等ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

**○委員長（橋本幸一君）** ないようでしたら、現地視察のため、しばらく休憩いたします。

（午前10時04分 休憩）

（午後 4時52分 開議）

**○委員長（橋本幸一君）** それでは、休憩前に引き続き八代市議会災害対策会議における総務委員会を再開いたします。

それでは、ただいま視察してまいりました公共交通機関等の現状調査及び坂本支所ほか関連

施設の現状調査について、御意見等はございませんか。

**○委員（成松由紀夫君）** もう視察については車中でもちょっとはお話ししましたが、もう皆さん現地を見られた後の確認の視察のような雰囲気がありましたので、あとはもう次のステップといたしますか、そういう方向で進めていただければなというふうに思います。

比較的ほかの常任委員会の初めて見られる委員さんの方々よりも、もう皆さん現地に入って、相当、今日、お話の内容の中でも詳しく御存じで、また復旧の状況についてもいろいろと網羅されてるなというふうに私は感じましたので、そのようにお願いしたいと思います。

**○委員長（橋本幸一君）** それでは、小会いたします。

（午後4時53分 小会）

（午後4時57分 本会）

**○委員長（橋本幸一君）** 本会に戻します。

御意見ありがとうございました。本日調査を行いました内容について、部会として意見を取りまとめるためお配りしております調査票を10月23日までに正副委員長へ提出いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

また、意見の取りまとめにつきましては、前回同様、正副委員長に御一任いただきたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

**○委員長（橋本幸一君）** 御異議なしと認め、そのように取りまとめをさせていただきます。

**◎前回の調査内容の結果報告**

**○委員長（橋本幸一君）** 次に、前回の調査内容の結果報告についてですが、前回の委員会を出されました意見の取りまとめについては委員長一任ということでありましたので、その取り

まとめをさせていただきましたので、事務局から報告させます。

どうぞ。

#### ○議会事務局議事調査係参事（中川紀子君）

それでは、配付しております部会活動における調査内容の結果報告（第2回分）という資料を御覧いただきたいと思います。

調査項目ごとに委員の皆様の見解を部会まとめということで網かけの部分にまとめさせていただきましたので報告させていただきます。

まず、1、情報伝達・収集の方法の①の災害発生状況についての周知方法についてですが、部会まとめといたしまして、発災前後は豪雨、洪水で住民への情報周知には地域間でも格差があったため、今後はICT機器を活用した災害情報通信ネットワークシステムの構築、また防災関連企業などのサービスの活用も調査し検討する必要がある。また、携帯電話など情報通信機器を持っていない高齢者等には周知格差が起こる。そのためにはサイレン音で知らせるなど周知方法の検討が必要である。気象予測技術では予報が難しい場合があるため、早期に避難を促すタイミングが厳しいことも考え、現在の周知方法以外に、どのような手段で情報を収集し入手したか地域住民に聞き取りをしながら今後の情報提供、周知方法を検討していく必要があるとの意見がありました。

次に、2ページになりますが、②の被害状況の収集、伝達についてですが、部会まとめといたしまして、発災直後はネット環境が使用不可になり情報が錯綜したので、電話、メール、SNS等を一時的にでも増やすなど、非常時の情報伝達方法の検討が必要である。また、災害時の不利な通信環境下では衛星電話が有利であり、地形的要因による孤立化リスクが懸念される地域への配備拡大の検討を進め、被災地等からのリアルタイムな情報収集に活用すべきである。情報収集・伝達にはマンパワーが必要であ

り、各コミセンの職員などとの連携も必要であるとの意見がありました。

次に、③のネット環境、ケーブルテレビ等の情報伝達の手段が途絶えたが、どの程度の期間で復旧したのか。また、災害時に利用できた通信機器についてですが、部会まとめといたしまして、防災拠点として情報収集・発信の上からネット環境が機能しないというのは致命的であり、被災地の現場にも大きな影響を与えるため、この点は見直すことが重要である。サーバーダウンにより市のホームページの閲覧や市の防災メールも着信ができなくなったため、サーバーの二重化が必要である。また、ケーブルテレビや固定電話は道路や電柱が被災するとつながらなくなるため、衛星携帯電話の普及が有効であるとの意見がありました。

次に、3ページになります。

④の孤立地域への情報伝達方法についてですが、部会まとめといたしまして、孤立地域の確認は、道路が寸断されたことにより徒歩での確認となり時間を要したため、ドローン等の新たな確認方法の検討が必要であり、緊急情報配信メールなどの情報伝達方法は、停電が起きると伝達が途絶えるため、バックアップ電源の普及など、電気がなくても伝達できる方法の検討が必要である。SNSは情報を拾いやすく、要援助地区の発見ができたため、SNSの活用も検討する必要がある。道路状況次第では小排気量の四輪駆動車など悪路走行にも耐える公用車が必要であり、運用についても検討する必要があるとの意見がありました。

次に、5、問題点や今後の課題についてですが、部会まとめといたしまして、想定されなかった災害が今回発生したため防災計画の見直しが必要な部分が新たに発生しているので、その部分について見直しや、今回のように大災害の発生が予測される場合は事前に対策本部の設置をするなど、防災計画の見直しが必要である。

再任用職員からアドバイスを聞きながら、そういった職員をフリーハンドにして活用・連携し、担当課は部署の仕事に専念できるような手順を検討する必要がある。また、自主防災組織などと連携し、役割分担を決める訓練など必要である。

市が発令する避難情報は気象庁が発する情報が基準となっているが、人命第一を最たるものとした発令ができるよう基準を設ける必要があり、停電時の発信者側の情報伝達方法や受信者側の入手方法についても検証等が必要であるとの意見がありました。

次に、4ページになります。

2の避難対策の①避難経路・方法についてですが、部会まとめといたしまして、発災時は集落内で地域住民の声かけにより避難対応され、今後も自主防災組織の充実、防災訓練の必要性と、公助の初動には限界もあるため自助、共助の取組を見直し周知徹底することが重要である。

安否確認は職員が1軒1軒回って確認したことは評価するが、安否確認の方法は地域とも協議をしておく必要がある。

避難経路や誘導者については、各校区などで諸条件が異なり地域の温度差があるが、地域を最もよく把握している校区長等の呼びかけというのは重要であり、今後は地域での活動はより組織的に、系統的にできるよう、自主防災会等の実質的な育成に努める必要があるとの意見がありました。

次に、②避難所対応についてですが、部会まとめといたしまして、要介護者、持病を持っておられる避難者の対応の仕方などの検討や、感染予防対策を踏まえた避難所対応は新しい様式を取り入れること、高齢化率の高い地域では福祉の充実が必要である。また、神戸市派遣職員の活動マニュアルを参考にすべきである。

大規模災害が起きた場合には、各地域のコミ

セン、学校等を使用することが考えられるので、エアコン設置を検討することと、緊急時におけるヘリポートを拡充する必要がある。

長期避難所となる避難所対応は市職員のみでは限界があるため、自主運営が可能となるよう、地域の自主防災組織の活性化を図るよう援助し、実質的なリーダーとなれるような人材育成にも努めるべきであるという意見がありました。

最後に、5ページになります。

3の公共交通機関の①の発災時から1週間ごとの復旧状況についてですが、部会まとめといたしまして、道路復旧については国、県、市、民間団体の連携により早期対応であった。今後は道路復旧、集落間の道路については林道利用や道路の強化を図り、リダンダンシー的取組も検討する必要がある。

公共交通については、被災地住民の利用状況を鑑みながら、より利便性が向上するよう利用の主な目的の把握に努め、利用者の要望に沿った内容となるとよい。また、災害前からの課題である少子高齢化社会に対応するため、乗合タクシーにモビリティサービスの導入も進めてはどうかと思うとの意見がありました。

以上で2回の調査内容の結果報告となります。

○委員長（橋本幸一君） ただいま調査報告がございましたが、何かこれについて追加とか質問等はございませんか。

○委員（成松由紀夫君） 今回のこの発災時の早期対応の部分については、今日の講演の講師の先生も何かちょっとそこに触れられたような気がするんですが、そういう客観的な意見ちゅうのは盛り込めないんですかね。市の職員の対応とか意識の高さというのは何かヒアリングされてるような気がしたんですが、その辺は関係ないんですかね。

○委員長（橋本幸一君） 今回については皆さ

んの所見のあれを取りまとめるということで。

○委員（成松由紀夫君） ああ、そうなんですか。総務委員会内部での意見取りまとめ。分かりました。

○委員長（橋本幸一君） 今日は今日の視察の結果の中で、所見の中で盛り込んでくれたら助かります。

○委員（成松由紀夫君） そっちでですね。はい、分かりました。そのほうに……。

○委員長（橋本幸一君） 今の何か。

○委員（成松由紀夫君） いや、大丈夫です。

○委員長（橋本幸一君） 大丈夫ですか。

今の取りまとめでよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋本幸一君） じゃあ、全体の取りまとめはただいまの報告のとおりということで御承知おき願いたいと思います。

---

#### ◎次回の会議日程及び調査内容について

○委員長（橋本幸一君） 次に、3番目の次回の会議日程及び調査内容について、御協議いただきたいと思います。

なお、今回は4回目の委員会となりますが、さきの委員会でも申しあげましたように、市議会といたしましても、復興計画に市議会の意見も反映させるという目的もありますので、次回の委員会において復興計画策定に伴う専門部会の意見の取りまとめを行いたいと思いますので、その辺を含めて御協議願いたいと思います。

小会いたします。

（午後5時09分 小会）

---

（午後5時15分 本会）

○委員長（橋本幸一君） 本会に戻します。

それでは、次の部回は11月5日木曜日、午後1時半より開催することとし、調査内容については、今回3回目の所見の取りまとめ、それ

からその他総務委員会関係分の事項についてを議題ということで進めさせていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋本幸一君） 異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

なお、先ほど申しあげましたが、本部会での活動に当たり、執行部に対してBCP継続中のため、原則、執行部の会議の同席については行わないこととされております。しかしながら、内容によっては執行部の同席も必要になる場合も考えられますので、その際は最少人数での同席となることもありますので御了承願います。

ほかに何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

---

#### ◎その他

○委員長（橋本幸一君） なければ、4、その他について、何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋本幸一君） 以上で本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって八代市議会災害対策会議における総務委員会を散会いたします。

（午後5時16分 閉会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和2年10月20日

総務委員会

委員長